

自給飼料用トウモロコシの収穫作業



コーンハーベスターとダンプのみごとな連携



6条、8条刈りの自走式ハーベスターがフル稼働で、「コスト・労力の低減」「品質のいいサイレージ」「品質の良い牛乳生産」を目指します

一期作の収穫作業7月中旬から8月中旬まで、オペレーターが交代で雨天以外は毎日行いました。晴れの日が続き作業が順調に進み、トウモロコシの出来も良く、いい飼料が出来そうです。

※刈り取られたトウモロコシは細かく刻まれ機械から噴出。それを受け止めるのは4トンドンプで、息を合せて操作。荷台がいっぱいになると農家のバンカーサイロに運びます。



オペレーターは、運転席のモニターを見ながらボタンで操作し、安全にスピーディーに作業を行います。



韓国TVの健康番組に「エゴマ」

韓国放送公社KBSが7月30日、菊池管内の農家らでつくる「菊池えごま生産組合」を取材。エゴマの苗が植えられた圃場の撮影や、組合員のエゴマ栽培へのこだわりなどのインタビュー取材がありました。

KBSは、世界各国の公営放送局と業務提携を結び、国際化と最新の情報伝達に力を入れています。今回は20年以上続く健康番組「生老病死の秘密」で、エゴマと海苔を取り上げ、熊本を訪れました。科学的根拠に基づいた情報を視聴者へ届け、健康的な食生活へのきっかけを提供します。「どのように食べれば効果があるのか」「毎日の食生活にどう取り入れればよいのか」などを実践的に伝えます。

※韓国での放送は10月に3週連続で紹介される予定。放送後、ユーチューブでも視聴できます。

※同組合は「無農薬・無化学肥料で栽培し、低温圧縮（コールドプレス）製法で油を絞り、高品質なエゴマ油を販売する。取材のきっかけはJA菊池HPとのこと。栽培環境や作業のようすなどが丁寧に取材されました。JAS認定工場を持つ肥後製油での取材もありました。



韓国TVの取材を受ける上村組合長(左)



エゴマ生産者と韓国TV取材班



6月の種まきのようす